 仙台高等専門学校			開講年度	平成31年度 (2	2019年度)	授	 業科目	ネットワーキングⅢ			
<u></u> 科目基码		31 3 3 12		1 /2/00 = 1 /2 (=	1,2)		2011				
科目番号	/~IIJTIA	0245			科目区分		専門/選	 択			
授業形態		講義			単位の種別と単位	位数	学修単位:				
開設学科		情報シ	ステム工学科	対象学年		5					
開設期		前期			週時間数	前期:4					
教科書/教	材										
担当教員		菅野 浩	徳,小林 秀幸								
到達目	票										
小・中規 Linuxによ	はるインタ-	ワークの物	「ること。 理設計・論理設計がで - バの構築ができるよ	できるようになるこ うになること。	と。						
ルーブ!	ノック			Television							
			理想的な到達レ			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安			
評価項目1			ICP/IP技術の基   明できる。	一礎知識を理解し説	TCP/IP技術の基礎知識を理解でき  る。			TCP/IP技術の基礎知識を理解でき ない。			
評価項目	2		小・中規模なネ	ットワークの物理 ができ説明できる	小・中規模なネットワークの物理 設計・論理設計ができる。			小・中規模なネットワークの物理 設計・論理設計ができない。			
 学科の3	到達目標」	項目との									
学習・教	育到達度目	標 1 情報シ	·ステムの中核となる`	 ソフトウェアの知識	とスキルの体系的	りで確実	な修得				
		必要な知識	践と応用能力								
教育方法	去等										
概要		    この科	しながら実践的に学習	- ク技術及びそれらを用いたネットワーク構築技法の基礎を,Cisco Networking Academy Program等の教材 ながら実践的に学習・修得する。 は企業でネットワークの構築・運用・コンサルティングを担当していた教員が,その経験を活かし,演習形式 示うものである。							
授業の進	め方・方法	本科目 ワーキ , e-lea	は,コンピュータリラ ング II などと関連する arning教材等を用いた	コンピュータリテラシ,コンピュータシステム基礎,情報システム基礎実験,ネットワーキングⅠ,ネ 「Ⅱなどと関連する。本科目は,ネットワーキングⅠおよびネットワーキングⅡを履修した学生を対象と ng教材等を用いた学習とパソコンやネットワーク機器を用いた演習を行う。							
注意点		授業時	間外における自学自習	習を確実に行い,着等	実に理解するよう	心掛ける	ること。不	明な点があれば進んで質問すること			
授業計画	画										
227/2016		週	授業内容			週ごと	の到達目標				
					この授業の目的,学習内容,到達目標などを理解する						
				要説明,予備試験 イッチ導入ネットワークの概要			。  予備試験により、現状の知識・理解の度合いを確認す				
		1週	概要説明, 予俪試場   スイッチ導入ネッ				る。 現在のネットワーク設計モデルと、LAN スイッチが				
							ァドレス情	報を使用してホスト間でデータを効率			
						的にスイッチングする方法について理解する。					
		2週	基本的なスイッチの	基本的なスイッチの概念と設定				安全な LAN 環境を維持するために必要なスイッチの  基本的な設定について理解する。			
		3週	VLAN	TANI				VLANおよびVLANトランクの設定,管理,およびトラ			
		3週	VLAIN	LAN				ブルシューティングの方法について理解する。			
		4週		ーティングの概念			ルータの役割, ルータの主なハードウェアおよびソフトウェアコンポーネント, およびルーティングプロセ				
	1ctO	1,62	70 7 1 2 2 C J IM/I			スについて理解する。					
	1stQ	E/M	\( \( \text{A} \text{A} \text{BB     - \( \text{A} \text{A} \text{A} \text{BB     - \( \text{A} \text{A} \text{A} \text{BB       - \( \text{A} \text{A} \text{A} \text{A} \text{BB       - \( \text{A} \text{A} \text{A} \text{A} \text{BB       - \( \text{A} \text{A} \text{A} \text{A} \text{A} \text{A} \text{A} \text{A} \text{BB       - \( \text{A} A	_AN 間ルーティング			VLAN 間ルーティングの実装に使用する方法、VLAN				
		5週	VLAN 間ルーテイン				間ルーティングおよび標準トラブルシューティング技 術を実装するときに生じる問題について理解する。				
				スタティック ルーティング			クラスフルルーティングと、クラスレスルーティング クラスレス ドメイン間ルーティング (CIDR) およ び可変長サブネット マスク (VLSM) について理解す				
		6週	スタティック ルー								
前期						る。					
						ダイナミック ルーティング プロトコルを使用する利点, 異なるルーティング プロトコルの分類方法, およびルーティングプロトコルがネットワーク トラフィッ					
		7週	ダイナミック ルー	ティング							
				17 2 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7			クの最適なパスを決定するために使うメトリックにつ				
					いて理解する。 基本的なシングルエリア OSPFの実装と設定について						
		8週	シングルエリア 09	シングルエリア OSPF				理解する。			
		9週	アクセス コントロ	アクセス コントロール リスト			標準 ACL(Access Control List)と拡張ACLを使用る方法について理解する。				
		10週	DHCP				DHCPv4とDHCPv6 の両方の機能, 設定, およびトラ				
		1000		ひょく のう ツトローク マドニフ 赤梅			ブルシューティングについて理解する。   NATの特性,用語,および一般的な動作について理解				
			ID.// ひ→ L □	カカドレフ赤棒		INATO	する。				
	2ndO	11週	IPv4 のネットワー	ク アドレス変換		する。		·			
	2ndQ	11週	振り返り	ク アドレス変換		する。		容の理解を深め定着を図る。			
	2ndQ	11週 12週 13週	振り返り オンライン試験	クアドレス変換		する。		·			
	2ndQ	11週 12週 13週 14週	振り返り オンライン試験 試験	ク アドレス変換		する。 これま	での学習内	容の理解を深め定着を図る。			
	2ndQ	11週 12週 13週	振り返り オンライン試験	ク アドレス変換		する。 これま		容の理解を深め定着を図る。			

分類		分野	学習内容	ř	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週			
専門的能力	分野別の専 門工学	情報系分野			ネットワークを構成するコンポーネントの基本的な設定内容について説明できる。			3	前2		
			情報通信  ットワー 		基本的なルーティング技術について説明できる。			3	前4,前5,前 6,前7,前8		
					基本的なフィルタリング技術について説明できる。			3	前9		
			その他の学 習内容		基本的なアクセス制御技術について説明できる。			3	前9		
評価割合											
淳		演習A		演習B		オンライン試験	試験	合計			
総合評価割合 1		10		20		30	40	100			
基礎的能力 5		5		5		10	10	30			
専門的能力 5		5		15		20	30	70			